

材料・デバイスを繋ぐ極限環境ナノ界面科学

Extreme environmental nano-interface science connecting materials and devices

物質・材料の界面科学は、電子やイオン、元素拡散によりデバイスなど**材料応用**を考える上で最も重要な研究分野です。これまで、材料界面の物理化学的知見は、マクロな界面領域や単純ナノ領域を静的に観察し、特性や挙動を推測することで、その動的挙動の科学的機序として議論されてきました。

近年、計測技術の発展とデータ科学や計算科学の発展に伴い、ナノ領域での**材料界面(ナノ界面)の動的挙動観察**が可能となりつつあります。

本シンポジウムは、材料応用に向けたナノ界面科学の解明を最終目標として、最新の材料合成技術、ナノ領域の動的計測技術、計算科学・データ科学など多岐にわたる若手研究者を一堂に集め、**新たなチャレンジを議論するための場**とします。

日時:2020年9月8日(火) 9:00~17:00 [予定]

会場:同志社大学・今出川校地(京都府京都市) or WEB開催

招待講演(敬称略・五十音順、仮題)

秋山 正和	明治大学	人間の心臓はなぜ左側に偏っているのか?~生物の形の非対称性とその数理~(特別講演)
アルブレヒト 建	九州大学	双極子集積型Head-to-Tail分子の創製と光・電子機能
田巻 孝敬	東京工業大学	固体高分子形燃料電池・水電解および酵素型バイオ燃料電池の電極触媒開発
笹居 高明	東北大学	超臨界流体を利用した酸化物ナノ粒子の表面・構造制御
長島 一樹	東京大学	堅牢なナノ界面と分子認識エレクトロニクス
藤岡 正弥	北海道大学	イオンの拡散制御による新規物質開発
森戸 春彦	東北大学	デバイス応用に向けたシリコンクラスレート単結晶のフラックス成長
龍崎 奏	九州大学	プラズモニクナノポアデバイスの創生

世話人:菅原 徹(大阪大学)、永村 直佳(NIMS)
連絡先: sugahara@sanken.osaka-u.ac.jp